

プレスリリース（2020年2月18日）

## オートリブ、インドでの交通安全への取り組みを向上させるため、インド官民と連携した共同チームによる推奨施策を発表

（スウェーデン、ストックホルム、2020年2月18日）自動車安全システムで世界をリードする Autoliv Inc.（NYSE略称：ALV、SSE略称：ALIVsdb）がインドにおける道路交通安全の向上に向けた一連の推奨施策として、インド政府、地方自治体、ステークホルダーとの共同での取り組みの成果を発表しました。

インドの道路ネットワークは世界最大規模で、総延長距離は560万キロに上ります。しかし、世界でも特に事故の多い国で、2017年のインド道路交通省の発表では、14万7,000人が交通事故で死亡しています。死亡事故の中でも、歩行者ならびに自転車やオートバイの運転者などの交通弱者の犠牲が目立っています。事故による死者の10%は歩行者で、自転車・原動機付自転車・二輪および三輪のオートバイなどの運転者の割合は40%にも達しています。

インドにおける死亡交通事故を減らすためのオートリブの取り組みは、インド国内のステークホルダーと共同で2018年より運用している「交通安全知識共有プラットフォーム」を基盤としています。政府機関、産業および学術関係機関との共同で、産官学の連携効果を最大限に活かすことが狙いです。インドの交通安全を向上し、事故による死傷者数の低減に向けて、共同チームでの検討内容から得られた教訓や結論を最終報告として推奨施策にまとめる作業が進められてきました。

「インド道路交通相として、オートリブが重要なステークホルダーと行ってきた取り組み内容については大いに感謝し、高く評価している。交通安全知識共有プラットフォームでの検討内容の成果をまとめた報告書を受け取れたことは喜ばしく、その内容を検討した上で、推奨施策の実施につなげる機会を探っていきたい」とニティン・ガドカリ（Nitin Gadkari）インド道路交通大臣は述べています。

これまでの65年間にわたる研究開発および生産活動を通して、オートリブは世界の道路交通安全向上のためのソリューションを開発してきました。また、インド国内でも確たる企業プレゼンスを築いています。1994年にインドでの事業を始め、Autoliv Indiaは今やオートリブ社

内でも最大規模の子会社に成長しています。これまでの取り組みを活かし、さらには国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の支援を受けて、オートリブは2018年に「交通安全知識共有プラットフォーム」の取り組みを立ち上げました。

「この取り組みの一環として、インド政府・インド国内の学術機関・自動車業界ならびにオートリブからの代表者で構成される共同作業チームが結成され、スウェーデンの「ビジョン・ゼロ」（交通事故撲滅ムーブメント）からヒントを得て、2018年から2019年にかけて、共同チームでの検討作業を続けてきました。これからますますモビリティの高まるインド国内の道路交通環境において、死亡交通事故の件数を下げていくために、交通安全の向上につながるような、前向きで持続可能な提言の場とすることを一番の目標としてきました」とオートリブの研究担当副社長、セシリア・スンネファング（Cecilia Sunnevang）は述べています。

共同チームでの取り組みの成果は、ACMA、ARAI、NATRIP、IIT DelhiおよびSIAMの合意に基づき、オートリブからの報告書「インドにおける道路交通安全・共同作業チームの推奨施策」の中に一連の方針および推奨事項として盛り込まれています。この報告書は、スウェーデンのストックホルムで開催された「交通安全に関する第3回国連グローバル閣僚会議」に合わせ、2020年2月17日にオートリブ本社において、インド道路交通省のニティン・ガドカリ大臣宛てに提出されました。



オートリブCEOミカエル・ブラット（Mikael Bratt）とインド道路交通大臣ニティン・ガドカリ（Nitin Gadkari）

以上

## 【本リリースに関するお問い合わせ先】

- ・報道関係者の皆様 担当：Jim Parks, Marketing Director, tel +1 (248) 370 5677
- ・投資家の皆様 担当：Anders Trapp, Investor Relations, tel +46 (0) 8 587 206 71

オートリブ グローバルについて

Autoliv, Inc. は、自動車安全システムをグローバル規模で提供するリーディングカンパニーです。当社は子会社を通して、世界中の主要自動車メーカー向けに、エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイール（ハンドル）、歩行者保護システムなどの安全保護システムを開発、製造および販売しています。

27カ国に広がる65,000人以上の従業員は、「Saving More Lives（より多くの命を守る）」という当社のビジョンに真摯に取り組んでおり、どんな業務においても品質を最も重視しています。14カ所にテクニカルセンターを配置し、19の衝突試験装置を保有しています。2019年度の売上高は、85億4,800万米ドルです。株式をニューヨーク証券取引所（NYSE: ALV）に、スウェーデン預託証券をナスダック・ストックホルム（ALIV sdb）に上場しています。

さらに詳しい情報は、以下を参照してください。

[www.autoliv.com](http://www.autoliv.com) オートリブグローバルサイト（英語）

セーフハーバー（免責）事項

本文書には、歴史的事実ではなく、1995年の民事証券訴訟改革法にて定義される範囲内で将来の見通しに関する記述とみなされる記述が含まれています。そのような将来の見通しに関する記述には、オートリブまたはそのマネジメントが、将来起こるであろうと考えるまたは予想する活動、事象または展開を示す記述が含まれます。すべての将来の見通しに関する記述は、現時点での我々の期待、さまざまな仮定および第三者から入手したデータに基づいています。

我々の期待と仮定は誠実に表現されており、それらには合理的な根拠があると考えています。しかしながら、そうした将来の見通しに関する記述が実現する、または正しいと証明される保証はありません。なぜなら、将来の見通しに関する記述は、本質的に既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因の影響を受けることになり、それらが、そうした将来の見通しに関する記述によって示されるまたは暗示される将来の結果、実績または成果とは実際には大きく異なる将来の結果、実績または成果をもたらす可能性があるからです。

数多くのリスク、不確実性およびその他の要因が、将来の見通しに関する記述にて示される結果とは実際には大きく異なる結果をもたらす可能性があります。本書またはその他の文書に含

まれる将来の見通しに関する記述について、当社は、1995年の民事証券訴訟改革法に示される、将来の見通しに関する記述に対するセーフハーバー（免責）の保護を主張します。また、当社は、法律にて要求される場合を除き、新しい情報または将来の事象を踏まえて将来の見通しに関する記述を公に更新または修正する義務を負いません。

※本資料は2020年2月18日にオートリブ本社（スウェーデン）で発表されたプレスリリースの日本語版です。英語版は以下のリンクからご確認ください。

<https://vp275.alertir.com/afw/files/press/autoliv/202002188674-2.pdf>